



子供が主役の学校

～本物から学ぶ教育～



概要版

墨田区立第三寺島小学校 校長 関口 亮治

「子供が主役」の学校づくりを目指す。

～全ての判断基準の第一は子供です。子供にとって良いと思うことは積極的に取り組みます。～

子供が主役の学校

子供一人一人の「生きる力」を育む質の高い授業を実現する。地域とともに子供を育てる学校を推進する。

行動目標

・いじめ〇、不登校〇

地域に開かれ・根ざした学校

地域と学校の信頼関係、保護者と地域の信頼関係を築き、それぞれに責任を果たしながら、地域に親しみを持ち、人との関わり合いを大切にできる子を育てる。学校を中心に互いに信頼関係を構築することで、この三寺小地域で暮らすことへの誇りをもてるようにする。

東京都の目指す教育 東京都教育施策大綱

誰一人取り残さず、すべての子供が将来への希望を持って、自ら伸び、育つ教育

東京の目指す教育の実現に向け、基軸となる3つの「学び」

- ・子供の意欲を引き出す学び
- ・社会全体の力を生かした学び
- ・ICTの活用による学び

墨田区が目指す子供の将来像 墨田区教育施策大綱

(1) 将来、社会で活躍し、地域に貢献できる自立した人

- ・感性豊かでいろいろなことに興味・関心をもって学び、実践できる人
- ・自己肯定感を育みながら、まわりの人の立場や気持ちを思いやることができる人
- ・スポーツや遊びを通じて健やかな体を育むことができる人

(2) 郷土に誇りを持ち、異文化とも敬意をもって積極的に交流できる国際感覚のある人

本校の学校教育目標

○**じょうぶな体をつくる子** → 運動が好きになる 健康のため自己管理ができる 自他の命を大切にする

○**すすんで学ぶ子** → 分かる、できる、定着する、楽しい授業 「本物から学ぶ」体験的な授業 環境教育

○**おたがいを大切にできる子** → いじめ・暴力を許さないー規範意識の醸成と実践 思いやり、勇気を育む

○**人のためにはたらける子** → 他の幸せを自分の喜びにできる 仲間と共に助け合える

教職員の基本姿勢 「子供が主役の学校」

- 保護者と共に、児童の成長を喜び合う。明るさや温かさを根底にししながら、指導すべき点は明確に伝わり、身に付くよう温かく寄り添って指導する。(体罰・暴言はあってはならない。)
- 子供の思いを受け止め、良いことと悪いことを明確に教える。勇気づける指導を進める。
- 特別支援教育への理解を進め、一人一人の良さを伸ばし、分かる・できる・考える喜びのある授業・教育活動を追求し、日々研究・研修に努める。
- 保護者・地域と温かい関係を築き、共によりよい学習環境・居場所を創造する。
- いじめを絶対に許さず、偏見や差別をなくす人権尊重教育の徹底に努める。(呼名・言葉遣い)
- 教師自身が児童の手本となる。率先垂範 凡事徹底 明るく温かく笑顔で

○じょうぶな体をつくる子

①運動が好きになる

- ・体育の授業の充実（年間計画の充実や専門家を招いての授業 教師の校内研修）。
- ・年間を通した計画的な体力づくり。
- ・長なわ跳び等、チャレンジすることを楽しむ。
「共遊び」の推進。

②健康のため自己管理ができる

- ・生活指導での取組「早寝・早起き・朝ご飯・運動」。
- ・基本的な生活習慣の定着。
- ・ソーシャルスキルトレーニング（社会性）。
- ・ストレスマネジメント（気分のコントロール）。

③自他の生命を大切にす—健康への意識

- ・食育推進 学校給食との連携・食物の栽培や出前授業など体験的な学習。 ⇒ 本物から学ぶ。
- ・心と体、命を大切にす学習。
発達段階の応じたがん教育、認知症理解、SOSの出し方に関する授業。

○進んで学ぶ子

本物から学ぶ教育を実現する

①「分かる」、「できる」、「定着する」、「楽しい」授業の展開

- ・学校生活の中心は授業。 ⇒ 楽しく、よく分かることによって、基礎・基本が身に付き、学習意欲が高まり、課題解決能力も高まる。
- ・「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて、授業改善を重ねる。
「個別最適な学び」と「協働的な学び」の充実。
多様な見方・考え方を大切にする。
根拠をもって対話や話し合いを重ねる。
- ・学び方を学ぶ。 ⇒ 調べ方、ノート指導、ICTの効果的な活用（一人1台タブレット端末を文房具のように使いこなす）。
- ・校内研究のテーマ
「一人一人を大切にする学び合う集団作り」
学習指導は、生活指導の基本。
子供たちが主体的に生き生きと活動する授業を進めていく。

②「本物から学ぶ」体験的な授業

- ・豊かな体験は、豊かな心を育み、子供たちに学ぶ意欲や追究する力を育てる。本校では本物との出会いを大切にし、体験的な授業の充実を行う。
- ・外部や地域の講師と連携した取組の推進。
- ・知的な好奇心を高める働きかけ。 ⇒ 学習意欲を高める。

③環境教育の充実

- ・「持続可能な社会のつくり手の育成」を目指し、SDGs・ESD・環境教育の充実を図る。
ビオトープ、校庭花壇の活用。

○おたがいを大切にできる子

①いじめ・暴力を許さない—規範意識の醸成と実践

- ・いじめを生まない関係作り。「言葉遣いは心遣い」
- ・アイチェックを活用した学級づくり。
→意欲の向上・自己肯定感の向上を目指す。
児童のサインを見逃さない。
- ・学校生活・社会の約束を守る。自分たちで課題に気付きルールを守る。「三寺あいことば」

②安心・安全の知識「自分の身は自分で守る。自助」

- ・SNS等のかかり方・メディアリテラシーの学習。
- ・不審者対応、薬物乱用防止などの学習、
セーフティ教室、交通安全教室、避難訓練（様々な想定場面での訓練）。
- ・安全指導日の指導の充実（安全教育プログラム）。

③思いやり、勇気を育む

- ・自己肯定感を高める指導、支援。
「生徒指導提要（改訂版）」（文部科学省）の理解と活用
- ・どの子にも出番のある、主体性を引き出す達成感のある行事。

○人のためにはたらける子

①他の幸せを自分の喜びにできる

- ・当番活動・委員会活動「みんなのためになる、学校が楽しくなる工夫」。
- ・環境美化 清掃・後片付け（ゴミを拾う、靴をそろえる、傘立てをきれいにす等）。
言われてやるのではなく、進んでやる「自主性」を校風にまでしていく。

②仲間と共に助け合える

- ・困っている友達に、優しく接することができる。
- ・道徳教育・特別活動の充実。
よりよく生きるための実践につなげる道徳。

<特別支援教育の充実>

ユニバーサルデザインの視点にたった環境作り
教室掲示、ICTの活用で子供の特質を考慮する
実態把握・相談体制づくり

<特別支援教室「まなび」拠点校>

3校（三寺・八広・三吾）における特別支援教育の充実
学級で生きる指導の充実

<幼保小中一貫教育の推進>

寺島中学校ブロックで11年間を見通した一貫した知・徳・体の育成
寺中ブロック目標「主体的に学ぶ子供の育成」
寺島中 第三吾孺小 第三寺島小 幼稚園・保育園

<併設幼稚園との年間を通した互惠性のある教育活動>

開校95周年、開園55周年、新たな歴史を刻む
地域と共に子供をそだてる三寺小
併設の幼稚園と共に